

Q19 授業の中での支援は？ その1

授業の中で子どもたちの支援をすることになりました。授業の中で上手に支援するには何に気をつけたらいいでしょうか？



ポイント

授業中の支援は、子どもが授業の流れにうまく乗れるように、タイミングを逃さず、手短にわかりやすく行うことが大切です。

📌 まずは授業の流れを知りましょう

授業の流れは、次のようなものが一般的です。①はじめの挨拶→②導入：これまでの振り返りや本日のめあての確認（約5分）→③授業の展開：めあてに向けた学習活動（35～40分くらい）→④授業のまとめと評価：わかったこと、新たに学習したことを振り返り、まとめを行って次時の学習につなげる（約5分）→⑤終わりの挨拶。

📌 〈はじめの挨拶〉のポイント

授業のはじめの挨拶をみんなと一緒にすることで、授業に向かう気持ちをつくります。休み時間から授業への気持ちの切り替えを支援してあげましょう。また、教科書や道具の準備に手間取っているようなら、「1人で準備する」ことがその子の優先的な目標でなければ準備を手伝ってあげることも時には必要です。

参考 「Q30 必要なところから注意がそれる子どもへの支援は？」の「📌机上の物・座席位置・姿勢を整える」

📌 〈導入〉でのポイント

基本的には、授業の導入、展開、まとめのどの場面においても、子どもの注意が先生や黒板、教科書等必要なところに向いているかを確認し、必要に応じて注意が向くようにながします。導入での前の時間までの振り

返りでは、「この前の〇〇は◇◇だよね」「ポイントは〇と△と◇だね」などと、以前経験したことが思い起こせるようなキーとなる言葉を伝えたり、めあての確認では、「やってみたい」「できそう」という子どもの学習意欲を高める支援が必要な場合もあります。そのためには、今日の授業では「何を、どのようにするのか」の理解をうながすことが必要です。

参考 「Q30 必要なところから注意がそれる子どもへの支援は？」

「Q20 授業の中での支援は？ その2」

📌〈授業の展開〉でのポイント

展開では、子どもたちが学習活動に継続的に取り組めるための支援が必要です。ここでも、子どもが1つ1つの学習活動において「何を、どのようにするのか」を理解しておくことが大切です（Q24の「ワンポイントアドバイス」参照）。

そして、子どもが「これでいいんだ」「だいじょうぶ」と感じられることが大切です。そのためには、できたという結果をほめるだけでなく、がんばっている姿ややり方そのものをほめてあげることが決め手となります。

📌〈授業のまとめと評価〉でのポイント

まとめの目的は、学習したことの定着をはかることです。そのためのキーとなる言葉を伝えてあげましょう。また、終わりの挨拶のあと、机の上の教科書、道具を片づける場所や手順を教えることで、スムーズに次の授業に臨めるように支援してあげましょう。

ワンポイントアドバイス 教室での立ち位置

授業中、個別に寄り添って支援をする場合は、子どもの横や斜め後ろに位置するとよいでしょう。その際、他の子どもの視界をふさぐことがないように注意しましょう。また、個別に付き添っていることが難しい状況では、教室の後方で支援の必要な子どもが見えやすいところにおいて、その場所から子どもたちをよく観察し、必要に応じて子どもたちの近くに移動して支援を行うようにしましょう。